

## 令和2年度 第1回甲賀市下水道審議会 概要報告

1. 開催日時 令和2年7月8日（水） 午前10時00分から午後12時00分まで
2. 開催場所 あいこうか市民ホール 展示室
3. 報 告 (1) 令和元年度甲賀市下水道事業会計決算について  
(2) 令和元年度一般会計（浄化槽関係等）決算について  
(3) 下水道事業関連計画の状況について
  - ①甲賀市公共下水道全体計画の変更
  - ②甲賀市公共下水道ストックマネジメント計画の概要
  - ③地域再生計画の中間評価
4. その他
5. 公開又は非公開の別 公開
6. 出席者  
委員 森村委員、福井委員、大林委員、金森委員、的場委員、  
曾和委員、鵜飼委員、寺井委員、脇阪委員、瀬古委員 以上10名  
事務局 上下水道部 立岡部長、黒田次長  
下水道課 杉本参事、井口課長補佐、小嶋課長補佐  
上下水道総務課 大谷課長、伴 課長補佐、中辻課長補佐、  
望月係長
7. 傍聴者数 0人
8. 会議資料 別紙のとおり
9. 議事の概要

### ○出席委員数の報告

出席委員は、11名中10名で、委員の過半数の出席であることから、甲賀市下水道審議会規則第4条第2項の規定により、会議が成立していることを事務局から報告。

### ○会議内容の公開又は非公開について

会長 本日の、会議内容の公開、非公開についてであります。当審議会は市の附属機関にあたりますので、公開が原則であります。

本日の資料には個人情報等非公開にしなければならない内容は含まれてございませんので、全て公開とし、議事録での発言者は個人名ではなく、委員として公開させていただきます。

（全員異議なし）

○報告

事務局 ( ( 1 ) 令和元年度下水道事業会計決算について、資料に基づき説明)

(質疑)

委員 決算報告では、令和元年度の収支としては黒字に見える。部長あいさつの中で料金改定の話があったが、なぜ値上げの話がでてくるのか。

事務局 決算としては黒字となっているが、一般会計からの繰入れが大きく占めている。公営企業会計として独立採算が求められ、基準外繰入金に頼らない財政健全化を目指すなかで、適正な「使用料」についての検討をしていく時期にあると考えています。

委員 一般会計からの補助金なしに、下水道事業の収支をしていくということか。

事務局 一足飛びにということではありません。営業利益についても、経営努力を含め損失額を減らしていく必要がありますし、繰入金も減少していく中で使用料の見直し検討が必要となります。

委員 今年度の予算で補助金を減らされたのか。あるいは、県補助金の全て減額される決定がされたのか。

事務局 今年度についてもいずれも減少しています。

委員 決算事務は、きちんと処理されており安心した。公営企業会計は一般の企業会計とも違い少しわかりにくい分野だと思う。財務諸表もグラフ化するなどわかりやすくできないか。

事務局 より一層分かりやすい資料となるよう工夫・検討していきたい。

委員 処理水量が平成30年度までの4年間は増えてきて、令和元年度で極端に減少しているが、理由は何か。

職員給与費が1,700万円ほど減額になっているが、どのような原因か。

事務局 処理水量は、水道の使用水量にも影響します。平成30年度が増えていますが、企業・事業所において大雨等の災害による影響で、生産拠点が甲賀市に移り一時的に排水量が増加したことも要因のひとつとなっている。

職員給与費は、期中における職員2名の退職と人事異動による減額です。

事務局 ( (2) 令和元年度一般会計(浄化槽関係等)決算について、資料に基づき説明)

(質疑)

委員 差額は何か。

事務局 歳入は市の一般会計として、国や県から受けた補助金、歳出の方は個人の方または地元組合に支払った補助金です。差額は市の一般財源となります。

事務局 ( (3) 下水道事業関連計画の状況について、資料に基づき説明)

①甲賀市公共下水道全体計画の変更について

(質疑)

委員 信楽処理区で、黄色の範囲は、中止なのか延期なのか。

事務局 単独公共下水道信楽処理区で、黄色の部分は、合併浄化槽区域として整備を進めていき、公共下水道としては整備をしないところです。

委員 信楽の単独下水道の計画面積が変わったが、現在ある施設が、今となつては過剰設備だということになるのか。実際縮小できるのか。補助金をもらって立派な施設を作っているが、これだけの計画面積が変わって、国からは別に問題はなかったのか。

事務局 まず、平成28年度汚水処理構想によって、国県の指導に基づいて今後をすることが大前提です。

信楽水再生センターは、現在、処理槽が一池です。縮小した全体計画においては、処理槽をもう一池増設する必要があることから、過剰投資にはなりません。

汚水幹線については、当初の広い区域で計算して、口径等汚水幹線過剰投資ではないかという部分があるかと思います。それについても、国と協議しており、流域面積の広さと違う条件、土質条件や、現場条件が工法を検討する優先条件になっておりますので、過剰投資にはなっていません。

事務局 ( (3) 下水道事業関連計画の状況について、資料に基づき説明)

②甲賀市公共下水道ストックマネジメント計画の概要について

委員 状態監視保全について、劣化状況の把握が可能でない施設はあるのか。改修金額年間5,000万円について、予算の見通しはあるのか。

事務局 状態監視保全について、施設により、機械・設備を目視で点検観察できるものは、状態監視という形で点検できますが、目視できないものは、設置か

らの経過年数によって判定します。

修繕金額について、安定的な下水道の供給をするため、経営戦略を策定しております。またストックマネジメントを策定する上で、更新の費用も含まれていますので、妥当な数字であると考えます。

事務局 ( (3) 下水道事業関連計画の状況について、資料に基づき説明)

③地域再生計画の中間評価について

(質疑)

委員 コロナ禍による観光客への影響と、それによる予算の見直しはあるのか。

事務局 信楽町の観光客につきましては、NHKの朝ドラ「スカーレット」の関係で、昨年度で実施しましたスカーレット展が好評でした。

あいにく、新型コロナウイルスの関係で、予定より早く閉館せざるを得ませんでした。多くの方にご来場いただきました。

新型コロナウイルスの関係は、今後どういった状況になるのか予想が難しいところではありますが、六古窯サミット、トリエンナーレ、伝統産業会館のオープン、滋賀県陶芸の森30周年記念等々、内外に発信できる事業が、目白押しでありますので、目標を達成できると考えています。

委員 地域再生計画の資料では、下水道の見込みだけか。市全体として観光客を呼び込む対策はしているのか。

事務局 地域再生計画の下水道事業がなぜ人口減少と関連しているのかというと、水洗化整備、下水道整備が仕上がって気持ちよく暮らしていただく、また訪れていただく、この2つを指標に挙げて、下水道事業の分野としてはきれいな町に住んでもらおう、来てもらおうという意味合いで、この計画を立てています。